様式2

# 都市再生整備計画　事後評価シート
# 半田乙川中部地区

平成23年3月

愛知県半田市

# 様式２－１　評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 愛知県 | 市町村名 | 半田市 | 地区名 | 半田乙川中部地区 | | 面積 | 161.0 ha |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 交付期間 | 平成18年度　～　平成22年度 | 事後評価実施時期 | 平成22年度 | 交付対象事業費 | 4,553 百万円 | 国費率 | 0.4 | |

## 1）事業の実施状況

| | | 事業名 |
|---|---|---|
| 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 道路（市道中午日東2号線）、公園（1号公園、2号公園）、下水道（半田乙川中部土地区画整理事業地区内）、高質空間形成施設（稗田川、平地川）、土地区画整理事業（半田乙川中部土地区画整理事業地区内） |
| | 提案事業 | 地域創造支援事業（河川環境・親水護岸整備事業、地域防犯施設整備事業）、まちづくり活動推進事業（地域防犯活動推進検討会） |

| | | 事業名 | 削除/追加の理由 | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 |
|---|---|---|---|---|
| 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 道路（祢宜浜田線、浜田2号線） | 土地区画整理事業の事業期間をH21からH28に延伸し環状線整備が事業期間内に見込めなくなったため削除 | 居住人口の指標に関連するが、数値目標は据え置く。 |
| | 提案事業 | 地域創造支援事業（公民館整備事業、地域開放学校用地取得事業）<br>まちづくり活動推進事業（公園施設整備検討会） | ・公民館整備事業は、市民交流センターとして整備することとしたため削除<br>・学校用地取得事業は、二次補正にて防災施設として位置づけたため削除<br>・公園施設整備検討は、3、4号公園の整備時期とタイミングが合わないため削除 | 地域創造支援事業：公民館の利用団体数、居住人口の指標に関連するが、数値目標は据え置く。<br>まちづくり活動推進事業：公民館の利用団体数の指標に関連するが、数値目標は据え置く。 |
| 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 公園（3号公園、4号公園、1号緑地）<br>地域生活基盤施設（地域防災施設・乙川東小学校）<br>高次都市施設（向山市民交流センター） | ・土地区画整理事業の進捗が図られ、3号公園、4号公園、1号緑地の整備を事業期間内に行うこととしたため追加<br>・二次補正にて防災施設として位置づけたため追加<br>・地域創造支援事業の公民館整備事業にて計上していたものを、市民交流センターと位置づけたため追加 | 公園：公園緑地面積の指標に関連し、数値目標を公園の整備面積分上方修正する。<br>地域生活基盤施設：居住人口の指標に関連するが、数値目標は据え置く。<br>高次都市施設：公民館の利用団体数の指標に関連するが、数値目標は据え置く。 |
| | 提案事業 | 地域創造支援事業（下水道事業） | ・基幹事業に含まれていた市単独事業を計上したため追加 | 居住人口の指標に関連するが、数値目標は据え置く。 |

| 交付期間の変更 | | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | |
|---|---|---|---|---|
| | 当　初 | 平成18年度～平成22年度 | | － |
| | 変　更 | － | | |

## 2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

| | 指　標 | 単位 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 | 数　値 モニタリング | 数　値 評価値 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因（総合所見） | フォローアップ予定時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 公園緑地面積 | ㎡ | 0 | H17 | 13,700 | H22 | | 13,700 | ○ | あり / なし | 土地区画整理事業が順調に進捗し、公園緑地整備面積の拡大につながった。 | 平成23年7月 |
| 指標2 | 居住人口 | 人 | 2,800 | H17 | 3,000 | H23 | | 2,910 | △ | あり / なし ● | 景気の低迷による宅地需要減退の影響を受け、期待した人口定着が図られなかったが、生活環境が充実し、人口増加に貢献している。 | 平成23年7月 |
| 指標3 | 公民館の利用団体数 | 団体 | 613 | H17 | 700 | H23 | | 986 | ○ | あり / なし | 公民館へのアクセス向上や住民の活動機会増加により、利用団体延べ件数の増加につながった。 | 平成23年7月 |
| 指標4 | | | | | | | | | | あり / なし | | |
| 指標5 | | | | | | | | | | あり / なし | | |

## 3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

| | 指　標 | 単位 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 | 数　値 モニタリング | 数　値 評価値 | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因（総合所見） | フォローアップ予定時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| その他の数値指標1 | 里親制度登録件数 | 件 | 3 | H17 | | | | 12 | | | 都市基盤整備により、地区の魅力や住民の気運が高まり、登録件数の増加につながった。 | 平成23年7月 |
| その他の数値指標2 | 建築着工件数 | 件 | 25 | H17 | | | | 152 | | | 都市基盤の一体的な整備により、良質な住宅・宅地が供給され、人口定着が進んだ。 | 平成23年7月 |
| その他の数値指標3 | | | | | | | | | | | | |

## 4）定性的な効果発現状況

平地川は、修景施設整備をきっかけとして、市民活動団体や地域住民による里親制度を活用した自主的な環境美化活動や教育活動の一環としての地元小学校の清掃活動が継続的に行われている。
平地川や稗田川の整備により、河川への関心が高まり、乙川東小学校がホタルの幼虫の放流を行うようになった。また、降雨時の水害が減り、防災面での効果もあったとの意見が評価委員会の中であった。

## 5）実施過程の評価

| | 実施内容 | 実施状況 | | 今後の対応方針等 |
|---|---|---|---|---|
| モニタリング | ・計画の管理実施<br>・関係他団体との連絡協議<br>・進捗途中での事業の再評価 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | ● | 定期的な庁内会議により、事業の進捗管理を行うしくみを継続する。<br>関係機関等との調整を継続的に進める。<br>地元権利者や関係機関等との調整を十分に図る。 |
| | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | |
| | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | |
| 住民参加プロセス | ・地域独自の防犯活動の支援　※1<br>・公民館建設における地域住民との調整　※2 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | ●※1 | 地域住民主体での防災・防犯活動への支援を継続する。<br>地域の施設を建設する場合は、地域住民の意見を極力反映する。 |
| | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | ●※2 | |
| | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | ・里親制度の活用など、市民主体のまちづくり活動 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた | ● | 地域主体の美化活動に際し、積極的な支援を継続する。 |
| | | 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した | | |
| | | 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | |

# 様式２－２　地区の概要

## 半田乙川中部地区（愛知県半田市）　都市再生整備計画事業の成果概要

**まちづくりの目標**

**大目標：豊かな環境と共生できるやわらかなまちづくり**
- ○緑のネットワークの形成や親水空間に配慮したまちづくり
- ○良好な住環境整備により人口定着
- ○住民が集い・楽しみ・安心できるまちづくり

| 目標を定量化する指標 | | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 公園緑地面積 | 単位：㎡ | 0 | H17 | 13,700 | H22 | 13,700 | H22 |
| 居住人口 | 単位：人 | 2,800 | H17 | 3,000 | H23 | 2,910 | H23 |
| 公民館の利用団体数 | 単位：団体 | 613 | H17 | 700 | H23 | 986 | H23 |
| 里親制度登録件数 | 単位：件 | 3 | H17 | - | - | 12 | H22 |
| 建築着工件数 | 単位：件 | 25 | H17 | - | - | 152 | H22 |

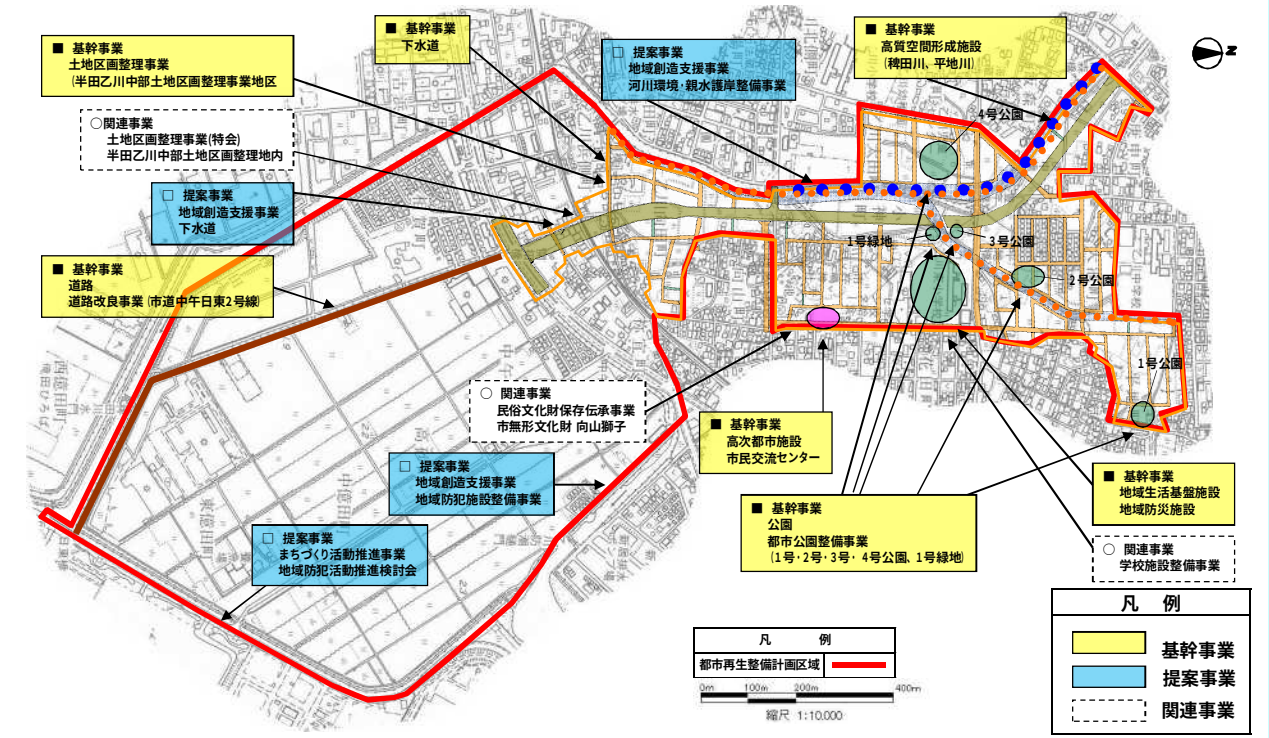
### 道路事業「市道中午日東2号線」

道路事業により、住宅地周辺の交通網の整備が図られた。

整備前　　整備後

### 高次都市施設「市民交流センター」

向山公民館の整備により、地域の活動が活発化した。




### 高質空間形成施設「緑化施設等整備」

稗田川、平地川沿いの緑化やカラー舗装により、地域住民が憩う魅力的な散策路となった。

整備前　　整備後

### 地域創造支援事業「河川環境・親水護岸整備事業」

稗田川の環境・護岸整備により、水に親しめる空間づくりが図られた。

整備前　　整備後

| | |
|---|---|
| まちの課題の変化 | ・土地区画整理事業、公共下水道事業、公園等の一体的な都市基盤整備が図られ、人口定着が進んだ。しかし、整備未完了箇所が存在するため、都市基盤整備を推進し、住宅地の質的向上を図る必要がある。<br>・住環境整備とあわせ、河川沿いの緑化や護岸改修等の親水空間整備が図られ、地域住民による里親制度登録が促進された。今後も地域住民によるまちづくり活動の促進を図る必要がある。<br>・土地区画整理事業により、（都）環状線の一部区間が暫定供用され、地域間の連絡性が向上した。しかし、未だに渋滞区間や未歩道区間等が存在するため、その解消が必要である。<br>・1～4号公園、1号緑地が整備され、地域の身近な緑の拠点が確保された。今後は、地域の身近な緑の拠点の活用促進を図ることが必要である。<br>・市民交流センターが整備され、公民館利用者数が飛躍的に増加した。今後も公民館の継続的な利用促進を図ることが必要である。 |
| 今後のまちづくりの方策（改善策を含む） | ・地域資源の活用により、地域住民の交流促進や人口定着に向けたＰＲ促進を図る。<br>・土地区画整理事業や河川環境整備等により住宅地の質的向上を図る。<br>・河川修景施設の整備促進を図るとともに、地域住民等との連携により、協働での清掃活動、イベント開催等を行う。<br>・（都）環状線の整備を含む土地区画整理事業の推進により、幹線道路と一体となった市街地形成の促進を図る。<br>・関係機関との調整を促進し、（都）環状線の早期完全供用を図る。<br>・街区公園における地域主体のクリーンボランティア活動や民有地緑化の促進を図る。<br>・イベントの実施や地域の自主的な活動への支援等により、地域住民の交流促進を図る。<br>・旧市民ホールの代替施設として、周辺地域住民の生涯学習・コミュニティ活動拠点施設の整備を行う。 |